

北海道駒ヶ岳

1 概況（平成 14 年 5 月）

地震の増加や火山性微動はなく静穏に経過しました。噴煙活動も弱く地殻変動にも特別な変化は認められませんが、今年 2 月～ 3 月には地震がやや増加したこともあり、今後も火山活動の推移を注目する必要があります。

2 噴煙活動の状況

遠望カメラでは昭和 4 年火口の噴煙は観測されず、噴煙活動は低いレベルが続いています。

3 火口・地熱地帯の状況

5 月 14 日と 15 日に定期の調査観測を実施しました。昭和 4 年火口をはじめ所々で弱い噴気活動が続いていますが、その状況に変化はありません。

【昭和 4 年火口】

火口内の 96 年主火口および火口内西側で弱い噴気活動が続いています。98 年火口では昨年同様噴気は認められませんでした。また、噴気音や臭いも認められませんでした。北側約 130 m の定点から赤外放射温度計で測定した火口の温度は 32 で、昨年 10 月（42）と同程度でした。

【96 年南火口列】

火口列の中で最も活発な F13 噴気孔では、弱い噴気音を伴って白色の火山ガスを噴出しています。噴気孔周辺には鮮明な硫黄昇華物が付着しています。また、F3 および F10 噴気孔でも弱い噴気が認められました。

その他、大亀裂の中央（通称明治火口）などで弱い噴気活動が続いています。

4 地震活動の状況

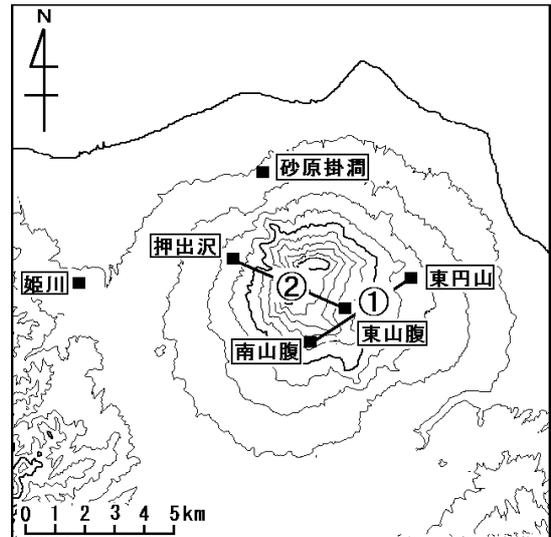
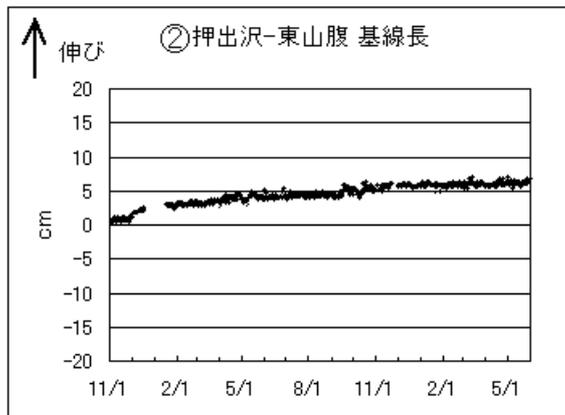
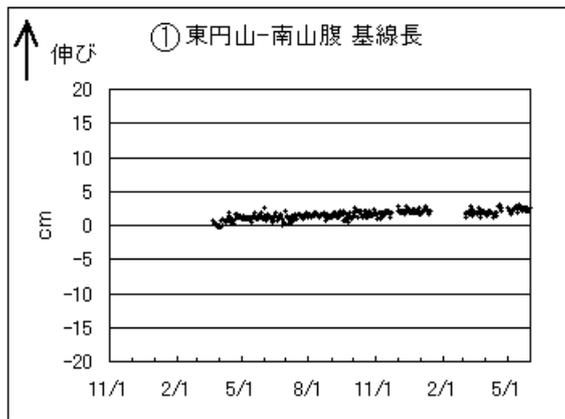
地震は 9 日に 1 回発生しただけでした。震源は山頂火口原の浅いところと推定されます。火山性微動はありませんでした。

月別地震・微動回数（A 点）

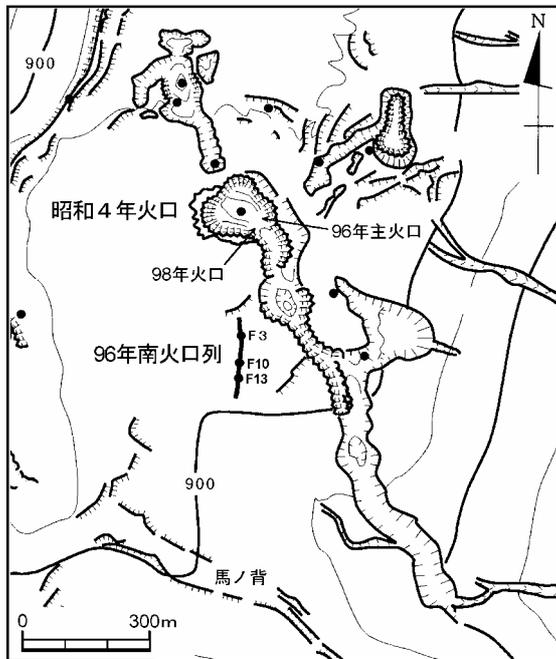
平成 13～14 年	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
地震回数	0	0	1	1	2	1	0	1	10	7	1	1
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5 地殻変動の状況

G P S 観測では、火山活動に起因すると考えられる特別な変化はありませんでした。



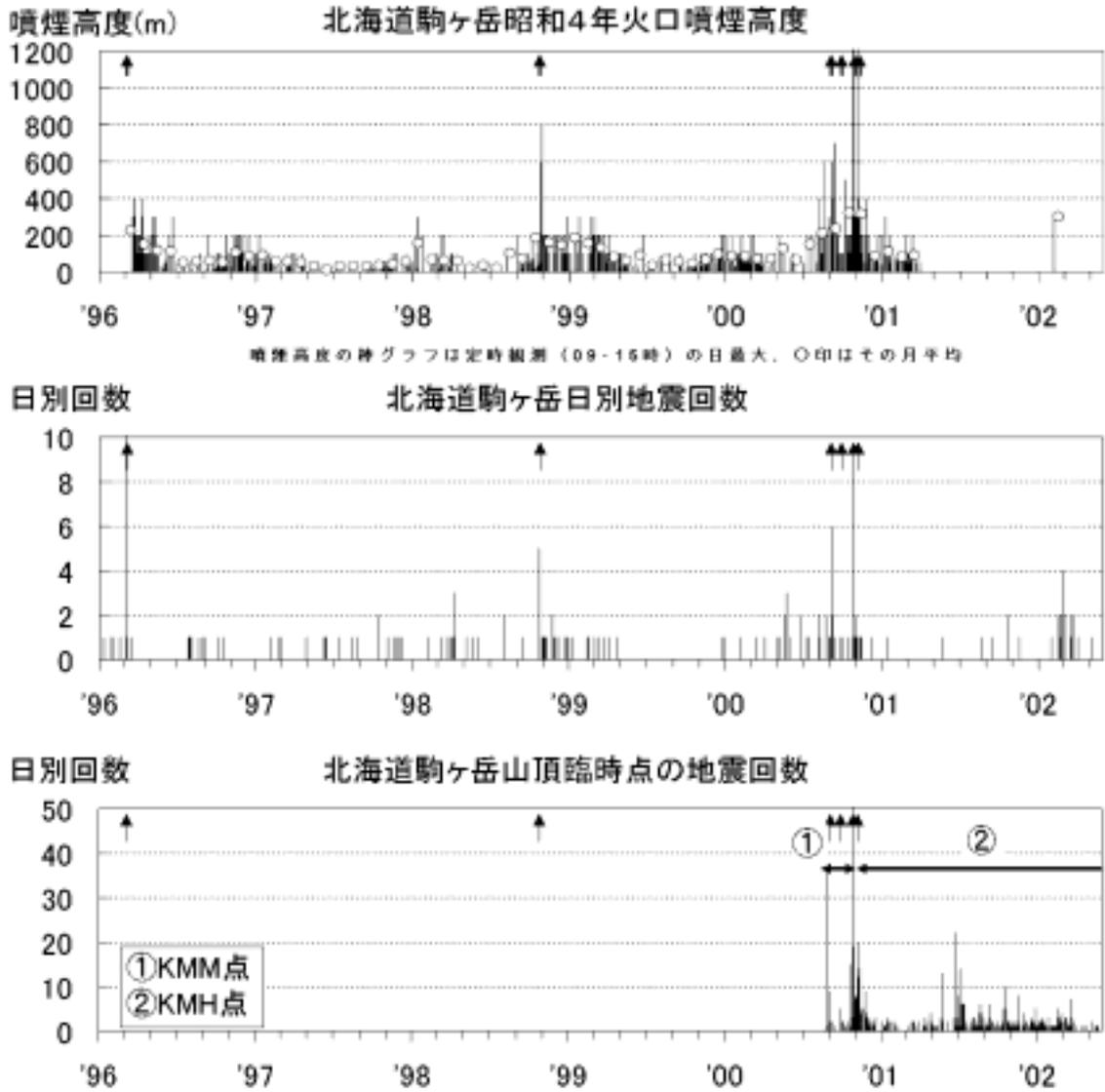
北海道駒ヶ岳基線長グラフ (2000年11月1日~2002年5月31日)



駒ヶ岳山頂火口原周辺図



北側から見た昭和4年火口
(5月14日)



北海道駒ヶ岳火山活動経過図(1996年1月1日~2002年5月31日) 印は噴火